

高橋亀吉 経済評論家、経済史学者。近代日本の経済産業史研究の草分けで、フリーな立場から膨大な業績を残した。

たかはしかめきち
大津事件・1891 =

山口県都濃郡徳山村で、長男に生まれる。

幼時に小児麻痺に罹り、左足が不自由になり、

日清戦争始・1894 = 3歳 :

日露戦争始・1900 = 9歳 :

日露戦争終・1905 = 14歳 :

伊藤博文暗殺1909 = 18歳 :

大阪・朝鮮で働きながら、2か年の通信教育講義録課程を卒業して、大学入学資格を取得し、

明治天皇没・1912 = 21歳 : 早稲田大学商科予科に特殊生として入学、

民本主義・1916 = 25歳 : 追い出されるように卒業、志望する三井物産が障害者を受け付けないため、久原鉱業に入社するも、
会社組織の弊害に耐えられず、

本格政党内閣1918 = 27歳 : {東洋経済新報}に転じ、

原敬首相暗殺1921 = 30歳 : 経済観察を執筆し始め、

護憲三派圧勝1924 = 33歳 : *編集長になる。経済観察を整理編集した「日本資本主義経済の研究」を刊行して、日本経済史の研究を開始
する一方、いきなり書き下ろして出版したマルクスの「経済学の実際知識」がベストセラーとなり、

治安維持法・1925 = 34歳 : 「金融の基礎知識」「末期の日本資本主義経済と其の転換」、共同執筆「日本経済の解剖」、

日本時代始・1926 = 35歳 : 共同執筆「日本経済の行詰りと無産階級の対策」。退社し、経済評論家として独立。

金融恐慌・1927 = 36歳 : 「左翼運動の理論的崩壊」によって、マルクス経済学と決別、

共産党事件・1928 = 37歳 : 日本農民党の会長として山梨県から立候補し落選。3年かけた「日本資本主義発達史」刊行。

世界恐慌・1929 = 38歳 : 「明治大正産業発達史」刊行。高橋経済学の端緒「実用経済学」も好評で、高等文官試験の参考書としてベストセラーになり、5年前の「経済学の実際知識」が改訂文庫に入ってロングセラーとなって行く。金解禁が問題となってくると、「資本主義退廃の諸相」「経済国難来」、

海軍軍縮条約1930 = 39歳 : 「最近の日本経済史」、「日本農村経済の研究」、「日本資本主義の合理化」(改題し「株式会社亡国論」)。「大不景気襲来及其の対策」「金輸出再禁止論」を著し、石橋湛山らとともに論陣をはる。

満州事変・1931 = 40歳 : 「日本金融論」景気はドウなる。共著「農村行詰りの原因・現状・対策」。初の選集「資本主義日本の研究」、

五一五事件・1932 = 41歳 : 「徳川封建経済の研究」。*原論・概論の執筆を止め、財界から基金を集め、高橋経済研究所を設立し、

国際連盟脱退1933 = 42歳 : 第5回太平洋調査会会議に委員として出席、日貨排斥への反論を展開。

芥川直木賞始1935 = 44歳 : 「現代朝鮮経済論」「新段階の日本経済政策」ほか。久しぶりに高橋経済学確立示す「経済理論の革命時代」。

二二六事件・1936 = 45歳 : 「支那経済の崩壊と日本」「現代中小商工業論」ほか。{高橋財界月報}を発刊。

日中戦争始・1937 = 46歳 : 「準戦時」下の財政と経済」「戦争と日本経済力」ほか、

健保+総動員 1938 = 47歳 : 「日本経済の飛躍と世界危機の前途」「日本財閥論」ほか、

第二次大戦始1939 = 48歳 : 「東亜建設戦と財政経済の再編成」「東亜経済ブロック論」「戦時計画経済の展開と物価統制」ほか、

大政翼賛会・1940 = 49歳 : 「戦時経済の現勢とインフレ問題」「新経済体制研究」ほか、

日米開戦・1941 = 50歳 : 「経済統制の再編成」「戦時物価統制論」ほか。日米開戦後は、企画院参与、物価中央委員会主査など政府関係委員、国策研究会常任理事などにも就任し、

金融・財政の再編成」「共栄圏経済建設論」。戦局進み、経済評論家としての第一線から退く。

敗戦・1945 = 54歳 : 敗戦後、

新憲法公布・1946 = 55歳 : 日本経済研究所を設立し、理事長兼所長となったが、

極東裁判判決・1948 = 57歳 : *公職追放になると、経済史研究に専心して「大正昭和財界変動史」(経済学博士論文)を執筆、

独立回復・1951 = 60歳 : 追放解除後、

自衛隊発足・1954 = 63歳 : 「大正昭和財界変動史」全3巻を刊行、

安保闘争・1960 = 69歳 :

TV宇宙中継始1963 = 72歳 :

霞ヶ関ビル・1968 = 77歳 : 「日本近代経済形成史」全3巻を刊行、

日中国交回復1972 = 81歳 :

石油ショック1973 = 82歳 : 「日本近代経済発達史」全3巻を刊行して、戦後取組んだ全9巻のライフワークを完結させ、

JAL/パイロット・1977 = 86歳 : *さらに、「日本の企業・経営者発達史」を書き下ろして、没した。

日中国交回復1972 = 81歳 :

石油ショック1973 = 82歳 : 「日本近代経済発達史」全3巻を刊行して、戦後取組んだ全9巻のライフワークを完結させ、

JAL/パイロット・1977 = 86歳 : *さらに、「日本の企業・経営者発達史」を書き下ろして、没した。

谷沢永一「高橋亀吉エコノミストの気概」、